

2008年7月23日

## ノーリツ、海外事業を強化 日本からロシアへの給湯器輸出、7月開始

～ 2010年までに海外事業の売上300億円を目指す ～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ 国際事業本部(本社:神戸市、取締役社長:神崎 茂治、国際事業本部長兼取締役副社長執行役員:熊澤英和)は、7月からロシアへの給湯器輸出を開始します。現地、代理店を通じて限定対象先に30台を販売し、プロモーションとして活用しながら販売台数を拡大します。

ノーリツグループには、現在、海外に計7つ( )の現地法人があり、2010年までに輸出を含めた海外事業を2007年12月期の売上高の2倍、300億円、また販売台数は同2.2倍の82万台を目指します。2008年度は海外事業の売上が全体の1割を超える計画となります。



ロシアでは、まず商業用のタンクレスガス給湯器をレストラン向けなどに販売します。現在、レストラン、修道院など3ヵ所でフィールドテストを行っており、厳冬期の耐久性も実証しました。モスクワ近郊のウラジミル市内の修道院(写真参照)では食堂の食器洗い、シャワールーム用に32号のタンクレスガス給湯器を設置しました。

またモスクワ建築大学(所在地:モスクワ市)にも当社製品の研修センターを今秋設置する予定で、建築を学ぶ学生、設計士、施工者など技術者向けの支援を強化します。

ロシア市場は経済発展とともに平均所得も増え、生活水準が高くなっています。また旧ソ連時代に整備された中央暖房システムの老朽化なども進んでおり、年間およそ200万台の温水機器の需要があります。

中国6、アメリカ1

